

開催概要

開催日時：6月24日（水）14:30～18:00
 開催方法：現地会場及びオンライン
 会場：TiB (Tokyo Innovation Base) STAGE スペース
 参加者：現地191名、オンライン140名

登壇者発表

- 会津発酵珈琲
 - Agnavi
 - アライドコーヒーロースターズ
 - TIB SHOP チーム(CCC)
 - ジャパンプランツテクノロジーズ
 - デイブレイク
 - 東洋製罐
 - 日清オイリオグループ
 - パンタレイ
 - 浜弥鯉節
 - プラチナバイオ
 - Value Create
 - VegeDo Initiative
- (計13社)

当日のアーカイブ
 ▶動画は[こちら](#)

議事

開会挨拶

1. 日本成長戦略会議フードテックWTについて

- 農林水産省からの説明
- 鮮度保持技術WT
- 発酵菌食品WT

2. 機関・団体からの発表

- 四国経済産業局
- 新潟フードテックタウン実行委員会
- 野村総合研究所(NEDOフードテック分野の調査結果報告)

3. 登壇者によるピッチ発表

4. 事務局からのご案内

- フードテック官民協議会規約改訂の決議

5. ネットワーキング（現地会場のみ実施）

ブース出展社

- Agnavi
 - ICS-net
 - FeelSensing
 - KIBO
 - MycoGenome
 - VegeDo Initiative
 - 会津発酵珈琲
 - 味の素
 - アライドコーヒーロースターズ
 - 近畿経済産業局
 - 勤労食
 - 四国経済産業局/ユナイテッドシルク
 - ディー・エム広告社
 - デイブレイク
 - 日清オイリオグループ
 - 発酵菌食品WT
 - ハピクロ
 - 浜弥鯉節
 - パンタレイ
- (計19社)

会員意見を踏まえた規約改定案について説明を行い、会場にご出席の会員の議決権の過半数の賛成の結果、原案どおり承認・施行された。

改訂の 背景

- 規約制定（令和3年10月）以降、会員数が約1,900名（約1,100企業・団体）へ拡大し、活動内容も多様化したことから、現行の運営実態に即した規約への見直しを実施

議決方法

- 出席会員（1人1票）の議決権の過半数の賛成により決議。可決後は改定規約を当日付で施行し、後日協議会ウェブサイトに掲載

改訂点

- ①運営ルールの整備
 - ✓反社会的勢力の排除、個人情報の取扱い、免責事項、総会運営等について、現行のコンプライアンスに即した規定を整備
- ②組織体制の整理
 - ✓WTとCCをWTへ一本化し、CCの活動はWTとして継続。また、目的・事業規定の整理及び事務局名称を更新

※上記に加えて、協議会の目的・事業の規定の整理や、組織再編に伴う事務局名称の変更を実施

※規約の変更内容は、本協議会HP掲載の新旧対照表を参照



